



杉谷ひろば

No.17

杉谷さんとともにまちを創る会
2012年 7月 3日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

6月議会
報告特集
(2-3面)

政治は民意に従え!



「原発再稼働反対！」一首相官邸前を埋め尽くした20万人の人々（6月29日・東京）

私たちの声で社会を変える

7月1日、多くの国民の不安と反対の声を押し切って、大飯原発が再稼働しました。しかし、「再稼働やめろ!」「命が大事!」の市民の声は大きくなる一方です。6月29日には、首相官邸前に20万人の市民が集結。日本では半世紀ぶりの大規模な市民の行動です。若い人たちがネットで呼びかけて次々広がっています。7月16日には、東京・代々木公園で空前の規模の全国集会が予定されており、私も参加してきます。政治家が民意を無視して決めても市民が行動でそれを変えさせる、その展望を開いていきたいものです。(杉谷)



(議会についてのご意見より)

- 議会だよりも、各議員の賛否が載ってない。これが一番肝心だ。
- 議会を傍聴した市民の意見を聞くべきだ。感想・意見のアンケートを書いてもらうようにしてはどうか。
- 議会だよりはきれい過ぎる。もったいない。カラーと2色の場合で価格比較してほしい。

7/14 杉谷伸夫の議会報告会

- 日時：7月14日(土)午前10時~12時
 - 場所：向日市民会館 (参加無料)
- ※どなたでも参加できます。
(問合せ：090-8384-5984 杉谷)



連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

6月議会報告

5月29日～6月22日まで開催された市議会定例会では、補正予算が承認された他、以下の問題が焦点になりました。

●「大飯原発の再稼働を行わないことを求める請願」－9：10で否決！

私は、請願に賛成の討論を行い、放射能汚染の危険という負担のツケを未来の世代に残さないことが私たち世代の責任であることを訴えました。国民の多数が再稼働すべきでないと考えているにもかかわらず、議会は否決しました。

★請願に反対した議員・・・永井・小野・新矢・天野・西川・石原・富安・長尾・磯野・中村

●市長が隠す「中間報告書」また暴露！

4年前、下水道石田川2号幹線工事のトラブルで2億2千万円の損害が発生し、税金で穴埋めされました。その全額を公費負担とするにいたった謎を解明する鍵となる、「顧問弁護士の間接報告書」計5通のうち、1通が暴露されたのに続き、6月議会最終日に2通目も暴露されました。市長は、すべての資料を明らかにし、公明正大な説明を行うよう求めます。

●北野台雨水貯留槽の施工不良の損害額アップ・・・約8,659万円→約1億4,898万円

向日市が損害賠償請求する工事業者を追加し、請求金額を増額しました。裁判の顧問弁護士が、石田川2号幹線工事で2億円の損害事件を担当し、議会から提出を求められた報告書を破棄して持っていないと回答した弁護士であることから、多くの議員から不信の声が出ています。

議会改革に奮闘！

●議会としての報告会を開催へ！ 来年5月から、公民館を予定

昨秋より議会活性化特別委員会で、「議会基本条例」の検討を始めています。やれることからどんどんやっっていこうと、まず議会主催の議会報告会を、開催することを決定しました。第1回は、来年3月の予算議会（1年間の向日市の事業計画を決める議会）の報告会を、市内3カ所の公民館で来年5月に開催する方向です。

今後、年何回実施するか、報告会の内容、進

め方、出された市民意見をどうするかなど、詳細の検討を進めます。皆さんのご意見を！

●議会のインターネット配信へ 来年度予算化を検討－9月に判断

議会本会議の模様を、インターネットで生中継および録画配信することを求める請願が3年前に議会で採択されましたが、この間検討が止まっていました。ようやく再検討が始まり、実施のために来年度予算化を検討します。パソコンさえあれば、いつでも議会をチェックすることになります。インターネット配信は、市民の知る権利の実現のためには欠かせない最低条件であり、ぜひ実現させたいと思います。

向日市議会 2012年6月定例会 主な議案に対する各議員の態度一覧(杉谷調査)

◎・・・全会一致

(○：賛成、×：反対、△：退席)

採決結果	会派	共産党					新政クラブ					公明党			市民クラブ		無党派			
		松山	常盤	丹野	北林	和田	山田	天野	新矢	小野	西川	永井	辻山	長尾	富安	石原	杉谷	飛鳥井	中村	磯野
○	住民基本台帳法の一部改正法等の施行に伴う関係条例の整備条例(外国人登録制度の廃止に関わるもの)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
○	訴えの変更(北野台雨水貯留槽の施工不良の損害賠償関係)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○
×	大飯原発の再稼働を行わないことを求める請願	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	○	○	×	×	○
×	大飯原発の再稼働を行わないことを求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	○
○	防災・減災ニューディールによる社会基盤再構築を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
×	最低賃金の引き上げ及び中小企業の支援強化を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	×	×	×
×	消費税の増税中止を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	
◎	●全会一致で可決された主な議案 ・一般会計および各特別事業会計の補正予算 ・再生可能エネルギーの導入促進にむけた意見書																			

※提出議案は、市のホームページで議会初日からご覧になれます(ホーム→市議会→議案・議決結果)

杉谷伸夫の 議会論戦

田・滋賀県知事は、万一の事故の際に甚大な被害を受ける京都府や滋賀県も地元であるとの考えを繰り返し表明し、また原発の安全性はまだ確認されていないと懸念を表明している。久嶋市長は、現在の状況をどのように評価しているか？

1 市民参加の時代に合わせ、公民館の使用制限の見直しを

杉谷 向日市は、議員の報告会に対してだけでなく、一般の様々な市民活動についても「政治的な活動である」として相当広く使用制限を行っている。市民参加の時代に合った、公民館利用のあり方へ見直しが必要ではないか。また、条例でなく公民館管理要項という行政内規で、公の施設を使用する市民の権利を制限するのは、違法の疑いがあるのではないか。

教育部長 本市の公民館は、公の施設であるが、他方で社会教育法において「営利的」「政治的」「宗教的」活動を行ってはならない（※注1）。公民館の運営については、管理運営規則、管理要項を定めて行っており、早急な見直し・検討は考えていない。（※注2）

※注1）社会教育法で制限されているのは「政党の利害に関する事業」です。完全な拡大解釈です。

注2）今の規則・要項は、地方自治法違反の状態です。早急な見直しを引き続き求めてゆきます。

2 中学校給食の検討を始めよ

杉谷 「中学校でも給食があればいいのに！」というのは、多くの保護者の思いだ。これまで中学校給食実施率が全国最下位だった大阪府で、全市町村が今後5年以内の中学校の完全給食実施にむけた事業をスタートした。高槻市などが実施する親子調理方式など、財政負担が格段に少ない方式も開発されている。この機会にしっかり調査を行って、本市での中学校給食事業の検討に着手すべきでは？

教育部長 中学校給食は、生徒の心身の健全な発達を促し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要であり意義がある。中学校給食の早期実施は困難だが、今後他市の様々な実施方式等、調査検討を進める。大阪府の中学校給食の実施の動向について注視し、国や京都府に財政支援をお願いしていく。

3 原発に頼らない地域社会づくりを

杉谷 政府は大飯原発の再稼働を強行しようとしています。しかし山田・京都府知事、嘉

市長 福島第一原子力発電事故はまだ収束しておらず、本格的な原因究明はこれからの状況において、国の示している基準は住民の合意を得られているとは言いがたいものであると考える。原子力発電所稼働については、その安全性確保を十分に見極めた上で、将来のエネルギー政策について国民的議論を尽くして慎重に対応すべきであると考えます。

4 市民の知る権利に応える施策の推進を

杉谷 まちの情報は主権者である市民のものだ。政策作成過程を市民が知り、関与していけることが大切だ。市民は、行政が決めたことを伝えられるだけの存在ではない。市民の知る権利の保障の第一歩は、行政情報の積極的な公開。その手段として「広報むこう」と「ホームページ」の改革について考えを問う。

市長公室長 広報むこうは、市民の意見・感想を聞く機会を設けており、おおむね満足いただいていると考える。ホームページ運用に関する環境は年々進歩している。情報の発信力強化と双方向性の観点から、市ホームページの運用方法について、フェイスブックやツイッターなどの活用を含め、見直しを検討している。また、議会に提案した議案は、今定例会提出分からホームページに掲載している。（※本件は、杉谷議員が要望していたもの）

杉谷伸夫の活動日誌（6月）

6月6日(水)	京都・市民放射能測定所担当
8日(金)	向日市議会・本会議第2日
9日(土)	市民参加でまちをつくる会例会
11日(月)	向日市議会・本会議第3日
12日(火)	向日市議会・本会議第4日
14日(木)	向日市議会・厚生文教常任委員会
15日(金)	向日市議会・建設環境常任委員会
17日(日)	原発を問う民衆法廷・大阪法廷
18日(月)	向日市議会・総務常任委員会
20日(水)	向日市議会・議会活性化特別委員会
22日(金)	向日市議会・本会議第5日
27日(水)	京都・市民放射能測定所担当
29日(金)	大飯原発再稼働反対・関西電力前行動参加
30日(土)	大飯原発再稼働反対・おおい現地集会参加

会員短信

若者はデモと言わず パレードと言う

安野 洋子

6月17日、福井で行なわれた「大飯原発」反対の集会に参加した。福井県庁前の広場は12時、各地から幟を持った人たちで埋め尽くされ、参加人員は2200人という事だった。私は前日、明通寺の住職・中畠哲演さんと小田文学を読む読書会を開き、次の日仏教思想を聞く予定だった。しかし福井の集会に急遽、哲演さんがメッセージを述べる事になったので、私達もそれに参加する事にした。

昨年の「福島原発震災」を風化させず、「若狭原発震災の前夜と言う地震学者の発言を肝に銘じるなら「大飯原発3、4号再稼働」をなんとしても止めたいというのが、あらゆる個人、グループ、団体の願いだと思う。1970年から「反原発」を言い続けていた哲演さんの思想は、ブッダの「全

ての命は愛しい。殺してはならぬ。殺されてはならぬ」と言う哲学から生まれていると思う。



「原発は安全」と言う「安全神話」は福島で崩壊したのに、「必要神話」を復活させ、再稼働しようとする政府のやり方を止めるのには、市民の力しかないのではないかと言う熱気のある集会だった。講師の5分のアピールに続き参加した人々一人分のスピーチが100人あり、若人、特に子育てをしている女性が多く頼もしく感じられた。2時間半の集会に続き1時間のデモ。「命が大事な集会は、若人がデモと言わないでパレードと言うように力強い活気のある行進だった。

7月16日には東京で10万人の「さよなら原発集会」がある。これらの反原発の熱気を政府に届かせたいものだ。



計画停電への対応に問題！

私は、車椅子で阪急電車に乗って通勤しています。計画停電になると地下の阪急河原町駅から地上に出るエレベーターが止まると聞きました。阪急電鉄の方に聞くと、河原町駅の助役は「うちが関知することではない、関西電力に聞いてくれ」

と。しかし車椅子で河原町駅まで来てエレベーターが動かない事で引き返すのか？

私は関西電力本社に電話し、もし計画停電をしたさいは阪急電鉄に連絡をし、各駅に掲示するようにお願いして下さいと頼みました。計画停電は7月から行かうかもしれないと言っているのに、なんと言うことか？これは阪急河原町駅だけの問題ではないはずですよ。

連載 ポイント解説

向日市の歴史

鈴木 健弘

第10回 長岡

向日市がかって向日町としてすでに戦国時代に明記されている。これは向日神社(向日明神)の名に負うところか。

長岡京(784~794)の中心大極殿は鶏冠井(かいで)に鍵状の垣をめぐらし、樹木で囲まれた御所で、鶏の鶏冠(とさか)に似た冠を戴いた天皇の姿をもとに考えられたように伝えられているが、長く穏やかに続く新都であれと願

う『長岡』の名前とは逆に、皮肉にも十年の都城でしかなかった儂い夢物語となった。

延暦3年(784年)11月、5ヶ月の工期で遷都された桓武天皇は、4年経っても宮室が完成せず、その3年後も奈良の平城宮の門を運ばせたりして、在都十年の殆どが造営に費やされている。延暦4年8月に、太秦公忌寸宅守(おおはたのきみいみきやかもり)が太政官院の垣を築いた功勞で、叙勲された(続日本紀)。平安遷都を決心した延暦12年にも、長岡京の百姓の宅地の“価値”を改め、返すことがなかった(日本紀略)。桓武天皇在都の間は、資材に悩み、民の勞役を駆り立てなければならなかった苦しい時期だった。はかどらない工事に、土地を召し上げられ、いら立つ百姓達は、垣ね越しに見る天皇や官人の異様でハイカラな冠物の会を、鶏のトサカに風刺したのだろうと想像される。そんなにこの長岡は古くからいい村人がいた良い所だった。